

# 令和5年度 立川市立第四小学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	○心身ともにすこやかな子ども ◎よく考えくふうする子ども	○根気強くやりぬく子ども ◎なかよく助け合う子ども
---------	---------------------------------	------------------------------

児童に育成を目指す資質・能力	複数の教科や学年全体に共通する取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>主体性、思考力・判断力・表現力</li> <li>見通しをもち、最後までやりぬく力</li> <li>生きて働き、活用できる各教科の基礎的・基本的な知識や技能の習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童がより主体的に取り組み、考えるための手だてと価値付けのある授業づくり</li> <li>カリキュラムマネジメントの充実</li> <li>一人1台のタブレットPCを活用した授業づくり</li> </ul>

教科	教科で育成を目指す資質・能力	資質・能力を育成するための具体的な取組（学習活動など）
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の考えが相手に分かるように書く力</li> <li>考えを表現したり、文章を理解したりするために必要な言語力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>低学年では、語と語や文と文の続き方に注意しながら内容のまとまりが分かるように書くことを、中学年では、相手や目的に応じて自分の考えを書くことを、高学年では、自分の考えが明確に伝わるよう構成を考えて書くことを目標に、文章を書く機会を増やし、友達と伝え合うことを通して身に付けさせる。</li> <li>書ける漢字を増やす。児童自ら漢字について学習したいと思える仕掛けづくりをする。</li> <li>主語と述語の関係や修飾関係をおさえることに加え、辞書を活用し、語彙の拡充を図り、言語力を高める。</li> <li>叙述を基に文章を読み解く力を高めるために、低学年では登場人物になりきって音読したり、中学年では情景描写や時代背景などとも結びつけて考えたり、高学年では人物像や物語の全体像を具体的に想像して考えたりする。</li> <li>語彙量を増やすために、学校図書館を利用する機会を増やすなどして、読書量を増やす。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>地理的環境に関する基礎的な知識</li> <li>資料の特徴に応じて、情報を読み取る技能</li> <li>必要な情報を吟味して関連付ける中で、自分の考えを構築し、判断（意思決定）する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図記号、方位、都道府県名、世界の大陸名とおもな海洋名などについては、学習内容と関連付けながら、その都度、地図帳や地球儀などを活用して繰り返し調べる活動を通して、身に付けさせる。</li> <li>課題解決に必要な資料の特徴に応じて、具体的な資料の読み取り方や視点（位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係等に注目する）を指導し、資料のどこを見て、どのようなことが分かるか考えさせる。</li> <li>社会的事象相互の関連（生産者販売者の工夫と消費者の工夫との関連、関係機関の相互の連携や協力など）や意味（社会的事象の社会における動き、国民にとっての役割など）を考えさせ、そこから見いだすことのできるよさや課題を考える活動を設定する。さらに、そこから自分たちにできることを考えたり、意見をまとめたりできるようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的・基本的な知識や技能（計算力、単位、図形の名前、特徴等）</li> <li>問題解決への見通しをもち、思考の過程を表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>四則演算の技能の定着を図れるよう、ドリルタイムも活用し、継続して計算の演習問題に取り組みさせる。</li> <li>実際の図形や具体物の測定などの体験活動を通して、技能の習熟を図る。</li> <li>具体物や半具体物、テープ図、数直線図などを意識して活用することで意味理解の定着を図るとともに、授業の中で互いの考えを共有する時間を確保する。</li> </ul>

理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>実験器具や用具を安全に正しく使う技能</li> <li>根拠のある予想や仮説をもち、自分の予想や仮説を確かめる方法を表現する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年で取り扱う実験器具や用具の正しい名称や使い方を指導するとともに、全員が実験器具に触れる機会と時間を確保し、技能を身に付けさせる。</li> <li>既習の内容や日常的な事象を根拠に予想や仮説を立てて記述するよう指導するとともに、考えを共有する活動を設定することで、根拠をもった説明ができるようにする。</li> <li>予想や仮説を立てる際は、観察や実験で検証可能かという視点をもたせることで、児童自らが見通しをもって観察・実験の計画を考えられるようにする。</li> </ul>
生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な事象に注目する力</li> <li>地域にかかわる人々や様子への関心</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な自然や植物を観察し、育てる活動を通して、特徴や様子、変化の発見の仕方について場面に合わせて繰り返し指導する。</li> <li>学校生活にかかわる地域の人々の活動に触れるとともに、交流を通して地域の人々との交流を深められるようにする。</li> </ul>
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌唱・器楽・音楽づくりの基礎的な技能</li> <li>すすんで音楽にかかわり、思いをもって表現したり、音楽のよさを見つけて、味わって聴いたりする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペアやグループ学習を取り入れ、互いに協力しながら技能を身に付けられるようにする。</li> <li>身体表現やリズム遊びなどを取り入れ、児童が主体的に取り組めるようにする。</li> <li>鑑賞コンサートや発表する機会を設け、音楽の楽しさを感じ取らせる。</li> </ul>
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> <li>造形的な特徴や材料等を基に、発想したり、構想をしたりするなど、自分の思いを表す力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な用具の基本的な扱い方を身に付けたり、材料選択の経験を積み重ねたりすることで、発想したり、構想したりする力を伸ばす。</li> <li>自分や友達の思い・表現を知る場面を設定し、互いに認め合いながら、表したいものを表せる喜びを味わえるようにする。</li> <li>体全体を動かしたり、形や色、材料の質感を生かしたりしながら、表したいことや表し方等について考えることができるようにする。</li> </ul>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習した内容を家庭生活に生かす力</li> <li>生活をよりよくしようとする意欲</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業で実践的に活動したことを活用し、家庭での実践計画を立てさせる。</li> <li>家庭の仕事を継続して行えるように、活動を紹介するなど、児童の意欲付けをする。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な場面で活用できる基礎的な技能</li> <li>友達と協力し粘り強く挑戦する態度</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間指導計画を基に、様々な領域の運動をバランスよく経験させる。</li> <li>基礎感覚を育むような運動に低学年から継続的に取り組ませる。</li> <li>何度でも挑戦したくなるような教材やルールの工夫をする。</li> <li>互いに認め合ったり伝え合ったりするペアやグループでの活動を様々な領域の運動で取り入れる。</li> </ul>
外国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な語句や基本的な表現を用いて質問したり、質問に答えたりする力（聞く・話す）</li> <li>基本的な表現を用いて伝え合う力（聞く・話す）</li> <li>アルファベットの大きい文字、小さい文字を正しく書いたり、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したりする力（書く）</li> <li>文字を識別し、読む力（読む）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALT との会話を楽しむとともに、単語の意味を絵や写真と合致させて伝える機会を多く設定することで、簡単な語句や基本的な表現を使って会話できるようにする。</li> <li>アルファベットに触れる機会を増やし、正しく書くことができるようにする。</li> <li>例文を参考に自分の思いや考えを書くことができるようにする。</li> <li>文字には英語の名称（A）と音（ア）がいくつかあることを気付かせる。</li> </ul>